

ROSE

文化情報誌
ロゼ

2006 WINTER Vol.54

ROSE THEATRE
ART INFORMATION
OF FUJICITY
CULTURE MAGAZINE
ROSE

ロゼの片隅

INTERVIEW

岡本知高

粋な大人時間

ニュー・イヤー・ガラ・コンサート

「第15回シヨパン

国際ピアノコンクール」

特集

EVENT CALENDAR 2006

粋な大人時間

ロゼシアター・オリジナルコンサート

「仲道郁代の音楽の扉」

特集2

Flash Back

ピックアップアーティスト

ロゼシアター出前コンサート潜入取材

「アクワバ」

INFORMATION FROM ROSE THEATRE



Interview
OKAMOTO TOMOTAKA

男性でありながら女性ソプラノの音域を持ち、

「奇跡の歌声」と称される

ソプラニスタ岡本知高さん。

大きな体に優しい笑顔で

取材現場に現われた岡本さんに、

4月8日のロゼシアター大ホールでの

コンサートに先駆けてお話を伺いました。



● おかもとともたか
(ソプラニスタ)

ロゼの片隅
katasumi

#8
タピストリー

<2階ガレリア壁面>



「四季-富士が見せるさまざまな表情」
作家:シーラ・ヒックス

このタピストリーは、自然や人類の変化に富んだ側面を表現し、それぞれの色彩や造形的質感は、人間の世界を創造しているさまざまな個性が影響し合い調和していく様子を意図に制作されています。

富士市の人々は富士山を眺め、移りゆく自然の荘厳さに思いを起こしながら日常生活を営み、そしてこの山がもつ様々な表情は市民に潤いを与え、同時に世界各地から訪れる多くの人々の心を魅きつけてゆくことでしょう。

朝の陽光や午後の日差し、そして夕陽の優雅さの中に自然と人類の相互作用を見出し詩情に富んだメッセージとして表現されています。

亜麻(アマ)を素材に織りや染色に三年余りをかけて制作された長さ百三メートル、幅二・六メートルの作品。五十一枚のパネルに分割して縫い込んであり、当時、シーラさんの指示により製作されました。

Contents ●

- ロゼの片隅 #8 タピストリー <2階ガレリア壁面> 1
- INTERVIEW 岡本知高 2
僕にとってこの体とこの声というのは一番ナチュラルなんです。
- 特集 粋な大人時間 5
ニュー・イヤール・ガラ・コンサート
「第15回 ショパン国際ピアノコンクール」
入賞者とワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団による夢の共演
- EVENT CALENDAR 2006 (平成17年度公演情報 H18年3月まで) 7
情報先取り! 2006年も魅力あるイベント満載!
- 特集2 粋な大人時間 9
ロゼシアター・オリジナルコンサート
「仲道郁代の音楽の扉」
音楽が生まれた時代にタイムスリップしてみませんか?
- Flash Back ■ロゼシアター主催事業 2005年9月~11月 11
- ピックアップアーティスト 12
◇保科 有希(ほしな ゆき) ◇井出 雪子(いで ゆきこ)
- ロゼシアター出前コンサート潜入取材「アクワバ」 13
ガーナ出身の「アクワバ」が小学校にやって来た!!
- Information from ROSÉ THEATRE 14
●プレゼントクイズ *編集後記*



僕にとってこの体とこの声というのは

一番ナチュラルなんです。

音楽を始めたきっかけは？

今はもう完治しましたが、小学校年のときに足が不自由になってしまつて、四年間親元を離れて養護施設で暮らしていたんです。でも、週末だけは家に帰ることができて、姉が練習しているピアノに合わせて歌を歌っていたんです。僕はそのころから歌が大好きだったので楽しかったですね。だから、足が治つたら絶対にピアノを習おうと思つていて、その念願が叶ったのが小学校五年生の時です。それから中学・高校と吹奏楽部、高校三年生で声楽と出会いました。

中学・高校と吹奏楽部でサクソスをやつていて、声楽に出会つたきっかけは？

将来は吹奏楽部の顧問になろうと思つて音楽大学受験のためにサクソスのレッスンに個人的に通い始めたんです。そうしたら、ソロプレイヤーになるような道を歩み始めてしまつて、自分の思っている世界と違うなと思つて高校三年生の時にサクソス専攻から音楽教育、先生を養成するコースに変えたんです。その受験科目に声楽があつて、急いで探した声楽の

岡本さんはすごく大きいというイメージがありませんね。

それは、テレビに出させていただくようになってからですね。昔は一人でコンサートをする事はほとんど無くてソリストの一人として出演していたんですけど、そうするとホスターとかの写真的扱いが小さいから、小さい人かなと皆さん思われちゃいます。それが、大男がスーッと出てきてビヤード歌うもんだから皆さんビックリしていましたね(笑)。

世界で3人という「ソプラニスタ」で自分がその中に入っていることについてどう思いますか？

そうですね、でもソプラニスタは探せばもつといると思うんです。ただ、成人男性の体を持つて、裏声じゃない天性のソプラノを持っている人は本当に少ないと思うんです。なぜ自分がそれに生まれてきたのか、なぜ自分なんだ？というは今でも思っています。僕にとってこの体とこの声というのは一番ナチュラルなんです。うちの両親がいて、なるべくしてこの声になったのかなと思います。声つていうのは世界にひとつの楽器ですから自分にとって特別な事には感じないですね。

「ソールバム」旅立ちの日に」の選曲は、ご自身で？

クラシック、歌謡曲、アニソンと色々なジャンルが入っているんですが、自分の歌いたい曲を選んでいきます。自分で、良い曲に出会ったときの感動はいつまでもあるので、それ、僕の好きな曲を皆さんに聞いて頂いて、そして喜んでいただけたら幸せだなと思います。余談ですけど今回のアルバムに、シブリアニメ「紅の豚」から「時には昔の話を」という曲が入っているんですが、そのレコーディングの時に加藤登紀子さんがスタジオにいらしてくれました。それで、「これは人に語りかけるというよりも自分自身の内に語りかけるんだよ」というような細かい心理的なアドバイスを頂いてすごく嬉しかったです。

今はソロリサイタルが中心ですが、今後オペラやミュージカルに出演という事は？

オペラは出たいです。コンサートだと、オペラのおい

先生が僕の歌声を聞いて、その個性を伸ばすためには教育科よりも声楽科を受験しなさいと。今までサクソスを六年間やつてきて楽器にいくらお金をつき込んだかわからないし、でも瞬時どうしようと思つたくらいで次の瞬間には「サクソスは辞めた！」と(笑)。

自分を、歌を、表現するステージで着る個性溢れる衣裳はご自身で考えられるんですか？

はい。大学時代、歌を歌うことも、ステージに立つことも楽しくてしょうがなく、好きな曲を歌つて、好きな衣裳を着ればより自分が輝けるんじゃないかと思つてとりあえずやつてみました。最初は大きなブルーのサテンの布を買つてきて、糸と針は使えないので、アイロンで止める接着テープで両端をとめて首と手が出るところを穴を開けて、それだけで、も、当時から「コンセプトはより大きく」でした(笑)。

お忙しいとは思いますが、休日の過ごし方は？

この間初めて、沖縄の慶良間諸島に行つてスキューバダイビングをしたんです。初めてボンベを背負つて沖縄の海のすくく深いところまで潜つて、今ちょっと沖縄移住を考えています(笑)。それから、舞台や映画を見るのも好きで二人でも行きますし、洋服を買いに行つたり、近所を散歩したり、家が川の側なのですくく気持ちいいんです。それから家で飼っている熱帯魚の世話ですね。

今、一番欲しいものは何ですか？

歌に関して言えば、声はまだ熟していない若い時期なので、高い声も低い声もまだ幅が広がっているんです。それがどこまで出せるかというのは自分でもわからないんですけど、ある程度のところにくくと、ピアノでいうところの半音高くなるって言うのは結構大変なんです。もう少しゆるやかなと思つて、今高い「ミのフラット」に挑戦しているんです。だから今一番欲しいのはその「ミのフラット」ですね(笑)。

最後に、4月8日のコンサートを楽しみにしているファンへメッセージをお願いします。

富士市にお伺いするのは初めてで、どんなお客様に出会えるか、そしてホールの雰囲気はどういうところなのか、初めての偶然と偶然が巡り合ったそのときにしか出来ない空間を僕も満喫しますし、お客様にも心の底から楽しんでいただけたらと思います。

取材：文／矢部哲也 撮影／飯野浩樹

<プロフィール>

1976年、高知県宿毛市生まれ AB型
国立音楽大学卒業。パリ・ブーラン音楽院修了。
神崎克彦、瀬川武、宇田川貞夫、A・パパジャク
の各氏に師事。在学中より数々のコンクールに
おいて入賞・優勝を果たし、1998年「第九」日本
初演80周年記念再現リサイタル『蘇る第九!』に
ソプラノ・ソリストとして大抜擢を受けデビュー。



岡本知高ソプラニスタコンサート
「Concerto del Sopranista 2005-2006 旅立ちの日に」

□ 2006年 4月 8日(土) 開場 17:30 開演 18:00

□ ロゼシアター大ホール

□ 入場料(全席指定) / S席:5,500円 A席:4,500円 学生均一:2,000円

□ チケット発売日/ロゼ友の会会員 2006年 1月 15日(日) 9:00~
 一般 2006年 1月 22日(日) 9:00~

● お問い合わせ/ロゼ・チケットセンター TEL 0545-60-2500

主催:財団法人富士市文化振興財団 後援:K-MIX

<プログラム>

- ・つらい運命に涙はあふれ (歌劇「ジュリアス・シーザー」より;G.F.ヘンデル)
- ・氷のような姫君の心も (歌劇「トゥーランドット」より;G.プッチーニ)
- ・少年時代
- ・芭蕉布
- ・津軽のふるさと
- ・空へ(NHKみんなのうた) 他

※プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。

New Year Gala Concert

ニュー・イヤー・ガラ・コンサート

入賞者とワルシャワ国立フィル

第15回ショパン国際ピアノコンクール

- 9月23日～29日 予備審査
今までビデオと書類による事前選考だったが、今回から応募者はワルシャワに行き、現地で審査を受けた。350名応募(日本人90名)
- 9月30日 予備審査結果発表
80名選出(日本人19名)
- 10月3日～11日 第1次予選
- 10月11日 第1次予選結果発表
32名選出(日本人9名)
- 10月13日～16日 第2次予選
- 10月16日 第2次予選結果発表
12名選出(日本人4名)
- 10月18日～21日 本選
- 10月21日 本選結果発表

結果一覧

- 第1位/ラファウ・ブレハッチ(ポーランド)
- 第2位/該当者なし
- 第3位/イム・ドンミン(韓国)
イム・ドンミン(韓国)
- 第4位/関本昌平(日本)
山本貴志(日本)
- 第5位/該当者なし
- 第6位/リー・カリン・コリン(香港)
- ポロネーズ賞/ラファウ・ブレハッチ
- マズルカ賞/ラファウ・ブレハッチ
- コンチェルト賞/ラファウ・ブレハッチ



ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団
Warsaw Philharmonic

前号の情報誌「ロゼ」でピアノメーカーの河合楽器製作所とヤマハ株式会社に取材をさせていただきました。イム・ドンミンさん、山本貴志さんはヤマハのピアノを、関本昌平さんはカワイのピアノを使用しました。世界の舞台上、品質の高さがさらに証明されたことでしょう。



今回の募集要綱です。



今回のプログラムです。予備審査の結果、選出された80名が1人1ページで紹介されています。

公演情報 2006年 1月24日(火)
開場18:30 開演19:00 ロゼシアター 大ホール
演奏プログラム/ピアノ協奏曲第1番ホ短調op.11
マズルカ、ポロネーズ ほか
入場料/(全席指定) S席:8,000円 A席:6,000円 学生均一:4,000円
◆チケット好評発売中◆

※各出演者プロフィール詳細は公演チラシをご参照ください。



第4位
山本貴志(日本)
 Takashi Yamamoto

1983年長野県生まれ。2003年より、ワルシャワ・ショパン音楽アカデミーに在学中。当コンクール副審査委員長ピオトル・パレチニ教授に師事。当初から入賞の呼び声が高かった。



第4位
関本昌平(日本)
 Shohei Sekimoto

数々のコンクールで入賞し、すでに世界をまたにかけて演奏活動をしている。2006年2月にショパン作品集をおさめたデビューアルバムをリリース予定。

取材文/川口直美
 Photo by Dominik Skurzak

じ年頃の男性の通訳を紹介しました。三月にポーランドのご自宅へ伺い、ご家族にもあいました。ショパンコンクールが終わって再会した時、「日本にも絶大なファンがいるのでファンクラブを作ります。」と伝えると、とても喜んでいました。(ブレハッチを訪ねてhttp://polja.hypermart.net)

ブレハッチさんの魅力とは
 無名だった彼が、浜松のコンクールで最高位になり、自国ポーランドでも注目を浴び、今回のショパンコンクールでは期待通り第二位になり、二躍時の人になりました。彼のすばらしいところは、決しておごり高ぶることなく、謙虚で、控えめなんです。今後二度と出ない、二十世紀のショパンではないでしょうか。

どんな演奏家になってほしいですか。
 自分なりの演奏を続けてほしいですね。彼には二つの喜びがあるそうです。一つはピアノを演奏すること、もう一つはその演奏を観客に喜んでもらうこと、だそうです。この気持ちを持ち続け、さらに磨きをかけてほしいです。

第15回 ショパン国際ピアノコンクール

ハーモニー管弦楽団による夢の共演



純大時間 ショパンコンクール

ロゼシアター出演者が決まりました。

世界が目にしたショパン国際ピアノコンクールの結果発表から約一ヶ月後、出演者リストが届きました。ニュー・イヤー・ガラ・コンサートにふさわしい、すばらしいメンバーです。

第一位のラファウ・ブレハッチさんと第四位の関本昌平さんは、第五回浜松国際ピアノコンクールで入賞しており、浜松にはブレハッチさんのファンクラブもあるそうです。縁のある方のお話を聞きながら、出演者の皆さんをご紹介します。



第3位
イム・ドンミン(韓国)
 Dong Min Lim

1980年、韓国ソウル生まれ。コンクール史上初の韓国人入賞者。なんと弟のイム・ドンヒュクさんも同じく第3位入賞。すばらしいご兄弟です。



第1位
ラファウ・ブレハッチ(ポーランド)
 Rafal Blechacz

1985年6月30日、ポーランド、ナクウォ生まれ。地元ポーランド人が覇者となったのは30年ぶり。第1位獲得のほかに、マズルカ賞、ポロネーズ賞、コンチェルト賞も併せて受賞。いま最高のショパン弾きである。

すでに二人の才能を見出していた、浜松国際ピアノコンクール事務局のかたに伺いました。お二人がすばらしい成績をおさめたことについてどのようなお気持ちですか。

ショパンコンクールの結果を知ったときは、事務局職員の皆様から歓声がありました。

浜松国際ピアノコンクール上位入賞者が世界で権威のあるコンクールで入賞したことは、事務局にとっても本当に嬉しく、誇りに思います。ラファウ・ブレハッチさんは、ウィーン・オーデションでの合格者であり、特に親しみを感じます。親の気持ちで見守っていることもありですね。

権威あるコンクールで入賞したわけですが、お二人はまだ若く、これから真価が問われると思います。今後どのような演奏家になってほしいと思いますか。

今回、富士ロゼシアターでのガラコンサート出演者の皆さんは浜松をはじめ、世界のピアノコンクールで認められ、送り出された俊英ですから、これからの時代を担うピアニストになっていくと思います。クラシック音楽ファンの皆さんの期待も大きくなると思います。個々の豊かな演奏スタイルで私たちにステキな感動を与え続けてくれるものと信じています。

今回のコンクールの時に、ブレハッチさんの演奏を聴くことができるそうです。

来年十一月に第六回浜松国際ピアノコンクールが開催されます。そのオープニングにブレハッチさんと、同じく二〇〇三年に開催した第五回の最高位者であるアレクサンダー・コプリンさん(二〇〇五年ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール第位)とのコンサートを予定しております。

九月にはブレイベントとして第四回の第二位だった上原彩子さん(二〇〇二年チャイコフスキー国際コンクールピアノ部門第位)がリサイタルを行うなど、浜松国際ピアノコンクールで世界デビューをし、世界で活躍されているピアニストたちが集結いたします。コンクールの期間中も是非浜松にお越しただければと思います。ホームページでは新しい情報を更新しており、第五回の様子もご覧いただけますので、あわせてご覧ください。(http://www.hpic.jp)

浜松で、ラファウ・ブレハッチさんのファンクラブ設立に力をそそいでいる、ポーランド市民交友会の会務事務局の影山美恵子さんにお話を伺いました。

ブレハッチさんとの出会いは
 第五回浜松国際ピアノコンクールの時、通訳を紹介したことがきっかけです。彼はまだ無名で、ほとんど注目されていませんでした。初めての海外だったらしくとても緊張していましたので、ほぐすために、同郷の同

EVENT CALENDAR 2006

3 MARCH

3/4 土曜日 ロゼシアター公募展
「新進アーティスト作品展vol.M」
Art Generation 2006

展示室
開場/10:00
閉場/19:00
最終日は17:00まで
入場無料
※3月6日休館日



前回佳作受賞作品 橋 琴美
前回佳作受賞作品 中田真央
前回優秀賞受賞作品 船山直明

3/10 金曜日 青島広志が手ほどきします。
「Mr.ブルーアイランド風 おんがくの楽しみ方」
その2/声を使って

小ホール
開場/18:30 開演/19:00
入場料(全席指定・税込)
一般前売/3,000円 学生/1,500円
チケット残りわずか



3/17 金曜日 アジアの風シリーズ 第9回「韓国発」
韓国伝統歌舞 鼓・舞・響(コムヒョン)

小ホール
開場/18:30 開演/19:00
入場料(全席指定・税込)
一般/2,000円 学生/1,000円
チケット好評発売中

韓舞楽芸術団による韓国伝統歌舞「鼓・舞・響」を披露します。太鼓を打ちながら踊る鼓のパフォーマーの「鼓」。両手に花扇を持ち、韓国の国花であるむぎげの花を表現する「舞」。韓国民謡メロディーを響き渡る歌声で歌い上げる「響」。「鼓・舞・響」という三拍子揃った多彩な内容でお届けします。この機会をお見逃しなく!



3/22 水曜日 人形浄瑠璃 文楽
昼の部:野崎村の段、勸進帳
夜の部:羽織落しの段、封印切の段、鷺娘

中ホール
昼の部 開場/13:30 開演/14:00
夜の部 開場/18:00 開演/18:30
入場料(全席指定・税込)
一般/4,000円 学生/2,000円
チケット好評発売中



3/30 木曜日 HOTEL 25th Anniversary
ALL TIME SUPER BEST TOUR

大ホール
開場/17:30 開演/18:30
入場料(全席指定・税込)
均一/6,800円 ※未就学児童入場不可

※ロゼシアター主催公演のチケット購入方法については14ページをご覧ください。
※表示価格は全て消費税が含まれております。

2 FEBRUARY

2/4 土曜日 ロゼオリジナルコンサート
仲道郁代の音楽の扉
～ピアノが奏でる音と街の物語～

中ホール
開場/13:30 開演/14:00
入場料(全席指定・税込)
一般/3,000円 学生/1,500円
チケット好評発売中

作曲家たちが生きた時代の人々の暮らしや時代の移り変わりを楽しいエピソードに仕立て、たくさんのスライド画像と共に仲道郁代さんの楽しいトークと素敵なピアノでお届けします。

※公演詳細は9ページをご覧ください。

仲道郁代
大学1年在学中に、第51回日本音楽コンクール第1位。あわせて増沢賞を受賞し注目を集めた仲道は国内外での受賞を経て、ヨーロッパと日本で本格的な演奏活動をスタート。幅広いレパートリーを持ち、国内外のオーケストラとの共演も数多い。99年にはカーネギーホールでリサイタル・デビュー。2001年にはサンクトペテルブルク、ベルリンでのコンチェルト・デビューを果たし、さらに活躍の場を広げている。



2/5 日曜日 仲道郁代 光のこどもたち

中ホール
開場/10:30 開演/11:00
入場料(全席自由・税込)
おとな/2,000円 こども/1,500円
※3歳からご入場できます。
チケット好評発売中

ピアノとスライドによる動物たちのお話と、ピアノのミニコンサート。ご家族でお楽しみ下さい。



絵:長谷川義史

仲道郁代さんからのメッセージ
「光のこどもたち」は、「星のとうふつたち」の作曲家、田中かほしさんがかかれた曲集です。この曲集は、昨今の森林の伐採、海洋汚染、オゾン層破壊に伴う温暖化など、絶滅の危機に瀕している動物たちの野生動物たちもテーマになっています。今回はそれらテーマから、生命の尊厳、大切さ、地球の恵み、暮らし、他者と自己との関係なども、未来あるこどもたちに音楽とお話と絵を通して少しでも感じてもらいたいと思っています。



2/14 火曜日 バレンタインコンサート

小ホール
開場/18:30 開演/19:00
入場料(全席自由・税込)
一般/1,000円 ペア/1,800円
チケット好評発売中
(※レストランロゼ バイクング 優待特典 付)

さまざまな、愛を演出する曲で、今宵、聖バレンタインをお楽しみ下さい。

プログラム
・エルガー/愛のあいさつ
・ドビュッシー/月の光
・レハール/メリー・ウィドウ
・葉加瀬太郎/情熱大陸 ほか

2/18 土曜日 伝統芸能ワークショップ 開催
「文楽の楽しみ方入門」

2/25 土曜日 第1回「文楽の楽しみ方と演目について」
第2回「文楽の音楽」

コーディネーター:竹内明彦
ゲスト:竹本士佐恵氏(浄瑠璃、重要無形文化財総合指定)

4階和室
開場/13:30 開演/14:00
入場料(2回セット料金)
一般/1,000円 学生/500円(税込) <参考書付>

1 JANUARY

1/13 金曜日 青島広志が手ほどきします。
「Mr.ブルーアイランド風 おんがくの楽しみ方」
その1/楽器を使って

小ホール 開場/18:30 開演/19:00
チケット完売

チケット発売日 HOTEL 25th Anniversary
ALL TIME SUPER BEST TOUR

大ホール
公演日/3月30日(木)
開場/17:30 開演/18:30
入場料(全席指定・税込)
均一/6,800円 ※未就学児童入場不可

1/14 土曜日 会員(10:00~) 1月14日(土)~27日(金)まで ※電話受付のみ
電話受付/◆ロゼ・チケットセンター 0545-60-2500

1/28 土曜日 一般(10:00~) 電話受付/◆ロゼ・チケットセンター 0545-60-2500
◆サンデーフォーク静岡 054-284-9999
◆チケットぴあ(特電) 0570-02-9533
Pコード 218-158
◆ローソンチケット 0570-084-644
Lコード 42077



チケット発売日 ソプラニスタ 岡本知高 コンサート
Concerto del Sopranoista 2005-2006
旅立ちの日に

大ホール
公演日/4月8日(土)
開場/17:30 開演/18:00
入場料(全席指定・税込)
S席/5,500円 A席/4,500円 学生均一/2,000円
聴くもの全てを美しく揺さぶるソプラニスタ奇跡の歌声

プログラム(予定)
・氷のような姫君の心も(歌劇「トゥーランドット」より)
・少年時代・芭蕉布・津軽のふるさと
・空へ(NHKみんなの歌) ほか



1/22 日曜日 小原 孝&トライトーン Music Café

中ホール 開場/18:00 開演/18:30
入場料(全席指定・税込)
1階席/4,000円 2階席/3,000円
学生均一/1,500円
チケット好評発売中(※ドリンク券付)

ピアノとアカペラの仲間たちが素敵なカフェをオープンし、ゆったりと並んだ名曲を美味しくフレンドリーにお届けします。



1/24 火曜日 ニュー・イヤー・ガラ・コンサート
「第15回ショパン国際ピアノコンクール」

指揮:アントニ・ヴィット
曲目/ピアノ協奏曲第1番ホ短調op.11 マズルカ、ポロネーズ 他
大ホール 開場/18:30 開演/19:00
入場料(全席指定・税込)
S席/8,000円 A席/6,000円 学生均一/4,000円
チケット好評発売中

ポーランドのワルシャワで開催された第15回ショパン国際ピアノコンクールの入賞者としてワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団による夢の共演!

出演者
第1位 ラファウ・ブレハッチ(ポーランド)
第3位 イム・ドンミン(韓国)
第4位 関本昌平(日本)
第4位 山本真志(日本)



指揮:アントニ・ヴィット ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団



ロゼシアター・オリジナルコンサート

仲道郁代の音楽の扉

～ピアノで巡る音と街の物語～

芸術の都パリ。音楽の都ウィーン——。
名曲が生まれた街には
歴史を彩ってきた、すてきな物語があります。

休日の午後ひととき。
美しいピアノの音色と、楽しいおしゃべりとともに
音楽が生まれた街を旅してみませんか？

シヨパンが喝采を浴びた華やかなサロン。
モーツァルトが、ベートーヴェンが歩いた美しいウィーンの森——。
わたしたちが知らない歴史の舞台で
名曲たちはどのように生まれ、愛されてきたのでしょうか？

数世紀のときを越えて
大作曲家たちが生きた時代にタイムスリップするよう
ふしぎな、ふしぎな時間旅行——。

さあ、ごいっしょに、すばらしい音楽の扉を開いてみませんか？



仲道郁代さんからのメッセージ

ピアノを習っている方も
弾かないけれども、ピアノが好きの方も、
興味はあるけれども、何となくコンサートには行き
づらい……と思っている方も、
小さな方も
おじいちゃん、おばあちゃんも。
もちろんおとこさん、おかあさんも。

ピアノと音楽にまつわるエピソードを
音楽をたくさんの方々に楽しんでいただきたい
と思つて

「へえ」がいろいろのコンサート。
「へえ」がたくさん集まって、「ほおー」になって、
「わあー音楽ってステキ」ってなれば幸いです。

制作発表の様様

平成17年10月13日(木)
ロゼシアター
レセプションホール



コンサートへの意気込みを語る
仲道郁代さん



<仲道郁代プロフィール>

大学1年在学中に、第51回日本音楽コンクール第1位、あわせて増沢賞を受賞し注目を集め、
数々の国内外での受賞を経て、ヨーロッパと日本で本格的な演奏活動をスタートさせた。

これまでに日本の主要オーケストラと共演した他、海外のオーケストラとの共演も数多く、マ
ゼール指揮ピッツバーグ交響楽団及びバイエルン放送交響楽団、小林研一郎指揮ハンガリー
国立交響楽団、ズッカーマン指揮イギリス室内管弦楽団、ピヒラー指揮ロンドン・モーツァルト・
プレイヤーズなどのソリストとして迎えられている。2001年12月にはサンクトペテルブルク（飯森
範親指揮サンクトペテルブルク・フィル）およびベルリン（デ・ブルゴス指揮ベルリン放送交響
楽団）でのコンチェルト・デビューを果たした。
昨今ではホール主催者と共によりサイトを制作して行うオリジナルコンサートも行い、積極的
に対応した演奏会を催し、好評を博している。



写真提供：新南朝日新聞社

制作発表に先がけて、「リスト／愛の夢」制作発表終了後は、市内音楽関係者とティータイム
「エルガー／愛の挨拶」の2曲を披露

【第1回】「芸術の都パリ～フランス編」

「たゆたえども沈まず」～セーヌの芳醇な流れを望み、ヨーロッパの中心に君臨した
華の都パリ。この優雅な都は、あらゆる文化が集う、芸術の都でもありました。

平成18年2月4日(土) 開場13:30 開演14:00
富士市文化会館 ロゼシアター 中ホール
入場料(全席指定・税込み) 一般:3,000円 学生:1,500円

<プログラム>
ラモー「エジプトの女」、
ドビュッシー「月の光」「アラベスク第1番」
ラヴェル「道化師の朝の歌」「オンディーヌ」
シヨパン「子犬のワルツ」「英雄ポロネーズ」「バラード第1番」ほか
※プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。

【第2回】「森と湖の都～東欧・北欧編」

豊かな自然のなかから、独自の文化を築き上げた東欧・北欧。この地はまた、シヨ
パン、リストなど、ピアノ音楽の歴史を大きく変えた巨匠たちを育んだ地でもありました。
◇主要作曲家／グリーグ・リスト・シヨパンほか(詳細未定)

平成18年7月2日(日) 開場13:30 開演14:00
富士市文化会館 ロゼシアター 中ホール
入場料(全席指定・税込み) 一般:3,000円 学生:1,500円

【最終回】「音楽の都ウィーン～ドイツ・オーストリア編」

ヨーロッパ随一の貴族、ハプスブルグ家の栄華の象徴ウィーン。きら星のような大
作曲家たちに愛されたこの都は、まさに音楽の都そのものでした。
◇主要作曲家／ベートーヴェン・モーツァルト・シューベルトほか(詳細未定)

平成19年2月(未定) 開場13:30 開演14:00
富士市文化会館 ロゼシアター 中ホール
入場料(全席指定・税込み) 一般:3,000円 学生:1,500円

ピアノとスライドでつづる動物たちの詩

仲道郁代の 光のこどもたち

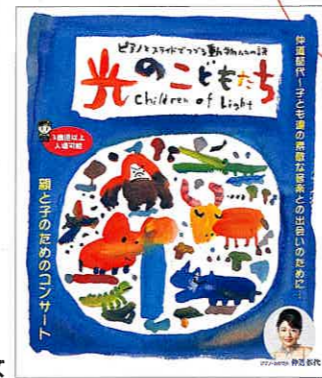
ピアノ・おはなし／仲道郁代
平成18年2月5日(日)
午前11時開演(午前10時30分開場)
ロゼシアター中ホール
【全席自由】
おとな2,000円(税込) こども1,500円(税込)
※3歳から入場できます。

<おはなしのあらすじ>

物語は、ある街に引っ越して来た少年
が、初登校の朝、スクールバスに乗っ
て他の転校生を拾いながら学校に行
くというものです。途中のバス停で待
っているのは、シマウマや白クマ……。
学校に行くバスの中、少年は、様々な
どうぶつ達と出会い、共に生きる大切
さに気づかされていきます。

プログラム

- | | |
|--------|---------|
| 前半 | |
| 田中カレン | 光のこどもたち |
| 後半 | |
| リスト | 愛の夢第3番 |
| モーツァルト | トルコ行進曲 |
| シヨパン | 幻想即興曲 |
| シヨパン | 子犬のワルツ |
| シヨパン | 英雄ポロネーズ |



*答えは、二月四日(土)「仲道郁代の音楽の扉」で！



ここで、そのなかからひとつだけご紹介いたしましょう。この絵には、シヨパンが
生きた十九世紀の情景が描かれています。これは、当時のパリのどこでもみ
られた光景です。さて、この男性の職業は何でしょう？

コンサートが苦手な方から熱心な音楽ファンまで、子供から大人まで、誰もが
楽しめる「仲道郁代の音楽の扉」は、ピアノとトークとスライドによる不思議
な時間旅行を楽しみながら、いつのまにか音楽がより身近になる、全く新しい
「音楽体験コンサート」です。膨大な歴史的資料から綿密に練り上げられた
シナリオ。当時の珍しい写真やスライド画像は、すべてヨーロッパから取り寄せ
た貴重なものばかりです。

数世紀のときを越えて、大作曲家たちが生きた時代にタイムスリップできた
ら？たとえば、シヨパンが華やかなサロンで喝采を浴びていた時代——テレビや
自動車はもちろん、電気もなかった街で、人々はどんな暮らしをしていたので
しょうか？街にはどんな音が鳴り響いていたのでしょうか？時代とともに消え
去った不思議な職業とは？パリではじめてのピアノコンサートは成功したの？
世界最初のレストランのメニューは？などなど、奇想天外なエピソードの数々を
楽しむうちに、その時代に生きた作曲家たちが何を考え、どんな音楽を創ろ
うとしたのが浮かび上がってきます。

音楽が生まれた時代に、タイムスリップしてみませんか？
ピアノ&トーク&スライドで巡る
不思議な音楽時間旅行

構成・演出／浦久俊彦

<浦久俊彦プロフィール>

1961年生まれ。19歳で渡仏。パリ(コンセルヴァトワール、ソルボンヌなど)で作曲・器楽・音楽学・音楽美学・哲学・歴史社会
学・文化論などを学ぶ。その後、フランス、ヨーロッパを中心に、フィルムから環境音楽まで幅広い音楽創作活動を行う。
拠点をフランスに留めながらも、1989年、学校法人・日本電子工学院(東京工科大学・日本工学院専門学校)に新設された
国内初(当時)の音響芸術科の講師として招かれ、音合成の基本原則を日常の音体験から解くユニークな音楽理論講義を行
うかわら、朝日新聞社「知恵蔵」、プリマム「プリモア」など数多くの企業CM音楽制作・企画・プロデュースを手がける。
その後、1995年からは、フランス・イヨヌヌ歴史文化財団とともに、歴史的遺産プロジェクトの企画・プロデュースを担当。
音楽文化だけでなく、広く芸術・文化全般の未来を見据えた斬新な企画は高く評価された。
現在は、フランスと日本を拠点に、作曲・執筆活動とともに数々のコンサート・プロジェクトの企画・プロデュースなど多彩な活
動を展開している。現代社会における音楽受容のありかたを、常に環境・社会のありようとともに批判的に問うその姿勢は内外
の数多くのアーティストからも信頼を得ている。

井出雪子

(いでゆきこ)ピアノ

来年三月に行われる、青島広志さん司会の「おんがくの楽しみ方 その2声を使って」に出演する井出雪子さんはソプラノの音楽家。「幼い頃から姉妹とともにピアノを習い、音楽は自然と身近にありました。中学生から声楽を習い、音楽大学への進学を決意しました。」

最近演奏している曲は「イタリアの作品が多いですね。オペラの Aria を歌いますが、ストーリーはもちろんイタリア語を理解していなければなりません。最近では、語学にも力を入れて勉強しています。そして、やはり日本人ですから

日本の歌も歌っていききたいと思っています。日本の歌は、イタリア語と違う難しさがありますね。また、皆様もよくご存知の曲が非常に多いため、言葉の発音にはさらに気をつけています。」

体調管理については「特別にありませんが、しっかりと食べてよく寝ることです。風邪をひかない元気な体が自慢の私です。



井出さんの音楽の楽しみ方とは「私もいろいろな方の演奏を聞きますが、非常に感銘を受けた時は、とても刺激になりますね。やはり、音楽は凄く力を持っていますよね。私も人に感動を与えられるように頑張ります。」

三月の公演に

「おんがくの楽しみ方 その2 声を使って 3月10日(金) 19:00開演 ロゼシアター 小ホール」

保科有希

(ほしなゆき)ピアノ

来年一月に行われる、青島広志さん司会の「おんがくの楽しみ方 その1楽器を使って」に出演する保科有希さんは7歳からピアノを始めた。朝の教育テレビを欠かさず見て、歌ったり踊ったりしている様子を見ていた両親が音楽教室へ入ることを勧めてくれました。今思えば、あの番組を見て絶対音感が身についたと思います。」

2000年のブーニン公開レッスンでは受講生として参加していただきましたが、「シヨパンの『革命』を弾きました。とにかくブーニン先生の要求をきくことに一生懸命でした。いい経験になりました。」

ピアノの魅力とは「旋律だけでなく伴奏も弾けてミニオーケストラのようですね。自分より大きい楽器を弾っていると、この感覚がうれしいです。またピアノは重力に逆らっていないと思うのです。指も下に下ろす動きですし、腰は座って

いるので落ち着いていますから人間の体にとって自然だと思います。」

ピアノを弾く子供



たちに対して「最初に弾いたときの『音が出た!』という感動を忘れないでほしいです。ピアノだからこそ出せる和音を常に感じてほしいですね。テクニックだけを学ぼうとはせず、聴こえてくる音や楽譜から得るイメージを大切に、自分分らんな風に弾きたいの大切を、自分分らんな自然な音楽を作ってほしいです。ピアノだけでなくいろいろな楽器の曲を聞くと新しい発見があると思います。」

練習の時に心がけていることは「譜読みの時音のイメージを膨らませたり、鮮明にするために、まず、メロディを和音で捉えます。その次にリズム、譜面の指示などを確認します。和音の大切さを忘れないように意識しています。」

演奏家としての夢は「自分の曲で聴衆を喜怒哀楽でいっぱいにしたいと思っ

ています。音楽はすべてハッピーだとは思いません。涙がでるほど悲しい曲もあれば、どん底に落ちるようなもの、怒りをおぼえるものもあります。いろんな感情を持って開放してほしいと思います。」

一月の公演の抱負は「リストの『パレード第2番』を弾きます。私が楽譜から受けたインスピレーションと、私の演奏を聞いたお客様が受けたインスピレーションがどう違っていて、どんな反応があるか楽しみです。精一杯曲作りをしよ」と思っています。」

音楽に対する真摯な姿勢が印象的だ。心を揺さぶられるような演奏をこれからも期待したい。

青島広志 おんがくの楽しみ方 その1 楽器を使って 1月13日(金) 19:00開演 ロゼシアター 小ホール

Flash Back

ロゼシアター主催事業 (9月~11月まで) フラッシュバック 2005

9月4日 山口とも みんなでガラクタ音楽隊



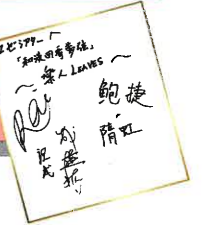
協力：富士芸術村 大人から子どもまで大はしゃぎ！オリジナルのガラクタ楽器作りにも熱中！ 最後は、ガラクタ音楽隊を結成して、1列に並んで行進しました。



9月16日 アジアの国シリーズ第7回中国民楽演奏会



思い出の曲に涙が出ました。楽器も近くで見ることができ、とても楽しかったです。あの懐かしさを感じる音色はもう一度聴きたいです。



9月18日 3人のヴァルトゥオーゾによる室内楽の夕べ



沼田園子、クリストフ・ヘンケル、ミハエル・クリストフ やはりクラシックは最高です。芸術の秋にふさわしい素晴らしい演奏会でした。



9月29日 ボヘミア オペラ 「カルメン」



さすがに迫力がありましたね。オペラ公演をまたお願いします。まさにオペラの名作です。舞台から流れてくるメロディに思わず口ずさんでしまいました。



10月6日 音楽座「21C: マドモアゼル・モーツァルト」



とても感動的でした。舞台装置も音響、照明もステキでした。また、音楽座が観てみたい!!



10月18日 フランシスコ・カナロ楽団



久しぶりのタンゴ公演で、ダンス、歌共に大変楽しいコンサートでした。本場のタンゴ、大変良かったです!



11月1日 富士市民 リクエストコンサート



演奏：吉田正記念オーケストラ 指揮：大澤可直 昭和の名曲、吉田作品を楽しみました。冬ソナ、マツケンサンバ等、流行の音楽も聴くことができました。指揮の大沢さんの、おしゃべりも最高でした。



11月4日 魔法のア・カペラ シャンディタリアコンサート



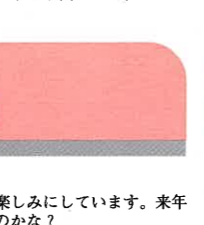
まさに、声のオーケストラ!もう、感動ものです。コンサート終了後に、全員でサイン会をしてくれてとても良かったです。宝物にします。(日本語での挨拶も完璧でした!)



11月12日 ロゼ フォークプラザ2005



毎年、楽しみにしています。来年もあるのかな? 今回は、若手「平川地一丁目」もがんばってましたね。また、絶対に来ます!



11月26日 スローカー・トロンボーン 四重奏団 小野田隆洋



トロンボーンが主役で本当にびっくり!最高です。学生時代にトロンボーン経験があり興味があつて来ました。素晴らしい音色にとても感動しました。今回は一般の方もセミナーもあったようで、一緒に共演されていて、来年以降も機会があれば来たいです。



●ロゼシアターからのお知らせ

ロゼシアター主催公演のチケット購入方法について

●ロゼ・チケットセンターで直接購入 (9:00~19:00)
ロゼシアター1階のロゼ・チケットセンターへどうぞ。座席表を見て空いているお席の中から好きな席が選べます。

●ロゼ・チケットセンター電話受付で購入 (9:00~19:00)
ロゼ・チケットセンター0545-60-2500にお電話で受付 (座席番号の指定はできません) のうえ、以下の方法でチケットをお受け取り。

- [1] 直接来店...ロゼ・チケットセンターでチケット代金とお引替ください。
- [2] 郵送...チケット代金を郵便振替もしくは銀行振込でご入金 (チケット代金+チケット郵送料) いただき、ロゼ・チケットセンターでご入金確認出来次第チケットをご郵送いたします。

郵便振替：郵便振替口座 00840-0-130374
銀行振込：富士信用金庫本店 普通預金口座 0146337 ※いずれもロゼ・チケットセンターまで。

●プレイガイドで直接購入 ※取り扱っていない公演もございます。下記のプレイガイドでご購入ください。

- マルサン書店 沼津仲見世店 TEL.055-963-0350 10:00~20:00
- カワセ書店 富士宮駅前店 TEL.0544-24-7160 9:00~24:00
- ユニオンテラス富士宮店サービスカウンター TEL.0544-24-6777 (代) 10:00~21:00

●チケットぴあで購入

電話で予約購入 10:00~23:30
0570-02-9999 (音声認識予約)
スポーツ専用 0570-02-9977
演劇専用 0570-02-9988
クラシック専用 0570-02-9990
問合せ専用 0570-02-9111

直接お店で購入



チケット

ロゼシアターがより利用しやすくなりました! 施設の使用方法変更

市民サービスの向上に努めるべく、施設の使用方法が変わりました。

●施設のお申し込み受付時間が1時間延長
これまで午前9時から午後7時までだった受付時間を午後8時まで延長しました。

●会議室、練習室の当日貸し出しが可能に
これまで前日までのお申し込みが必要だった会議室、練習室の当日受付が可能になりました。

●1ヶ月を切ったからのホールの申し込みが可能に
これまでホールの使用については、1ヶ月前までのお申し込みが必要でしたが、打ち合わせやスタッフの人数など、条件が合えば、1ヶ月を切っても対応可能になりました。

●和室を食事会場としてお使いになれます
4階和室を食事会場としてお使いいただくことが可能になりました。ただし、食事についてはロゼシアター内「レストランロゼ」にご注文とさせていただきます。

●詳しいお問い合わせは、ロゼシアター(電話0545-60-2510)まで、お気軽にお問い合わせください。

ロゼシアターの出前コンサート

富士市内の小学生たちにお届けします



楽しいアフリカンミュージック&ダンス!

ガーナ出身の「アクワバ」が小学校にやってきました!!



【出演:アクワバ】アクワバとは日本語で「ようこそ」という意味です。西アフリカのガーナという国から日本にやってきました。ガーナは、野口英世博士が黄熱病の研究のため亡くなった地でもあり日本との縁も深く、現在ガーナには博士を記念して「野口英世メダル・カレッジ」が建てられています。メンバーは、本国での一流ミュージシャン及びダンサーであり、日本に在住するメンバーで構成されています。世界の踊りや、世界の音楽の原点であるアフリカンミュージックを楽しく熱いパフォーマンスで展開してゆきます。そのノリのいい演奏とパワーあふれるダンスは、本物の中の本物のアフリカを体験させてくれることでしょう。ロッテの「カカオの恵み」のCMや2000年、2001年のNHK紅白歌合戦に出演するなど幅広く活躍している国際交流グループです。

- (平成17年度実施)
- 10月17日(月) 鷹岡小学校、青葉台小学校
 - 10月18日(火) 大淵第一小学校、大淵第二小学校
 - 10月19日(水) 広見小学校、天間小学校
 - 10月20日(木) 丘小学校
 - 10月21日(金) 吉永第二小学校、神戸小学校

ロゼシアター(財団法人富士市文化振興財団)では、皆様により多くの文化芸術に接していただけるよう自主事業を行っています。その中でも、ロゼシアタースタッフがとて楽しみにしている公演がオープン以来、毎年開催している「ふじ少年少女芸術劇場 小学校学校コンサート」(通称:出前コンサート)です。毎回、3年をかけた富士市内の小学校を回り、1年生から6年生を対象に学校の体育館でコンサートを開催しています。生徒や先生、みんなが楽しめるプログラムで大人気です。今回の出演者はガーナ出身のアクワバです。プログラムも、歌、ダンスの他にアフリカの楽器紹介やガーナの紹介、ガーナ語と日本語の話など内容盛りだくさんでお届けしました。コンサート当日の体育館の雰囲気など、皆様にお届けすることができるかな?



太鼓の大きな音が鳴り、アクワバが体育館の後ろのドアから登場。生徒たちはびっくりこれから、どんなコンサートが始まるのか? (ワクワク)



生徒たちの間を通りスリージーへ。間近でみる外国人に、まだまだちょと緊張気味?



皆さんははじめて「アクワバ」です。今日は盛り上げていこうね。「みんな元気ですか?」



生徒も先生も最初からノリノリです。全身でリズムを感じ、アクワバの投げかけに答えます。「イエーイ!」



アフリカンミュージック&ダンスに夢中です。隣の生徒と一緒に踊ったり、みんな笑顔が素敵ですね。



生徒のキラキラした目が、とても楽しいコンサートということが想像できます。ロゼシアタースタッフも毎回、生徒の皆さんの笑顔を見るのが楽しみです。

アクワバのコンサート終了。とても楽しい一日でした。またねー!(拍手)

生徒の皆さんの感想です
アクワバの人達は、演奏も歌も上手だし、ノリがとても良いと思いました。外国人が入ってきて最初はビビったけど、とても面白い人だと思った。演奏や歌だけでなく踊りやガーナの話、日本やガーナの言葉の話などもあって楽しく聴くことができました。ガーナのアフリカンミュージックを生で見たり聴いたりするのは初めてだったけれど音楽で勉強した「トーキングドラム」を生で見たり、音楽室にある「カウベル」や「コンガ」などの音も改めてしっかり聴けて良かったです。この時間で国境を越えてガーナのみならずと楽しめた。それを私はとてもうれしく思いました。

ガーナの人はずっと元気よく、ノリもよく、背も大きくてびっくりしました。外国の方でもやさしいのだとあらためて実感しました。ひとつひとつの音は大きくてすごくひびきました。体にも振動がきてドクドクと心臓の音がなっていたのがわかりました。日本の曲もたくさん知っていましたが、ハモリのある演奏を聴かせてもらいました。まるでお祭りのようににぎやかでとても楽しかったです。なんか終わると少しさみしいような気がします。また、聴けるといいなと思いました。

はずかしいことがなくて、たくましかった。笑いがたえない、あの人ははあわせそうだった。おどろいたことは日本語とガーナ語が少し一緒だったこと。日本からあんなに遠い所にいるのに日本語と少し一緒なんて思ってもいなかった。あのやさしい人たちみたいになりたいと思った。きれいで素晴らしいミュージックが聴けてよかったです。

九月四日(日)山口もさんの「みんなでカラク音楽隊」の公演がありました。当日の雰囲気もとても良かったです。まずはカラク楽器を手作りするワークショップから始まりました。



ガラクで楽器を作るので作業スペースには色々なものが並べられていて、使わなくなった傘の骨、お魚が匹まるまる入る箱、ペットボトル、流木、鉄板、ハンガー、ビーズ等を使い、お友達同士で考えながら山口さんやスタッフの皆様たちと一緒に楽しく作業しました。こどもたちの、オリジナルカラク楽器を作る発想や、所懸念を所山口さんも脱帽! 感心しきりでした。



プレゼントクイズ
1月13日(金)、3月10日(金)の「おんがくの楽しみ方」公演に出演される「Mr.ブルーアイランド」とニックネームで呼ばれている、あの大人気の先生の名前は? 漢字で答えてね!! 「○○○○」

プレゼント「人形浄瑠璃 文楽公演」3月22日公演、昼の部/開演14:00 夜の部/開演18:30
2 プレゼント レストラン「ロゼ」 昼・夜 各チケット 3組6名様 (昼・夜お選び下さい)
3 プレゼント レストラン「ロゼ」 御招待券 2組4名様
応募方法/官製はがきに、住所、氏名、年齢、職業、クイズの答え、希望するプレゼント名(どちらか1つ)、本誌に対するご意見・ご感想をお書きのうえ、下記宛て先に郵送を。(平成18年1月末日消印有効) なお、当選者は賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。
宛て先 〒416-0953 富士市夢原町1750番地 ロゼシアター「情報誌ロゼ第54号プレゼント」係

休館日のお知らせ
保守点検の為、全館休館となります。
1月1日(日)・2日(月)・3日(火)
2月6日(月)・20日(月)・21日(火)
・22日(水)・23日(木)
3月6日(月)・20日(月)・31日(金)

ロゼシアターホームページで情報を!! <http://rose-theatre.jp> ◇公演情報 ◇施設の空き状況 ◇交通情報 ◇メールマガジン配信など

